

近畿ブロックにおける事故ゼロプランの概要

国土交通省では、事業の透明性・効率性を高めるため、交通事故対策事業において、データや地域の声等に基づいた、「事故ゼロプラン」の取組を進めています。

近畿地方整備局では、管内2府5県で事故が多発する直轄国道を対象に、事故ゼロプランの基礎となる事故の危険性の高い区間(事故危険区間)として1,045区間を選定しました。(平成24年12月現在)

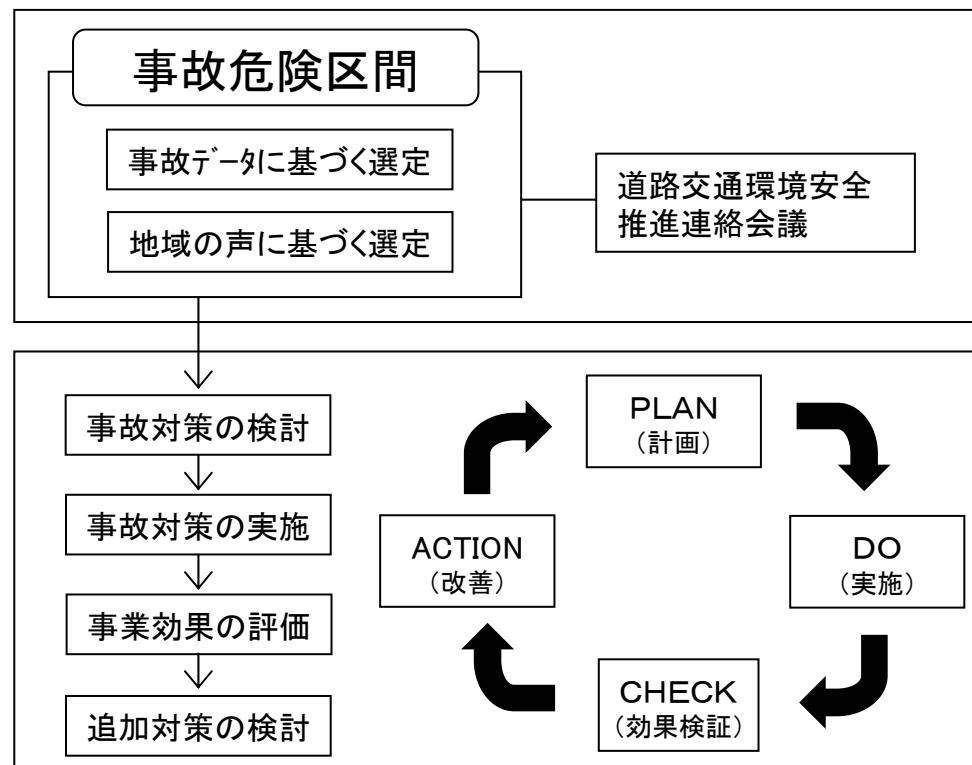
事故危険区間は、過去の事故データに基づくほか、地方公共団体や国民の皆様からの意見など、地域の方々の声に基づき、また、各府県ごとに設置する道路交通環境安全推進連絡会議で意見を頂きながら選定しました。

●府県別事故危険区間数

	事故危険区間数		
	事故データに基づく選定	地域の声に基づく選定	計
福井県	57	26	83
滋賀県	27	21	48
京都府	106	89	195
大阪府	125	191	316
兵庫県	62	143	205
奈良県	22	40	62
和歌山県	80	56	136
近畿地整計	479	566	1,045

※H24年12月現在

●事故危険区間の選定・事故対策の進め方



近畿ブロックにおける事故ゼロプランの概要

- 全国の国道・都道府県道を約71万区間に分割し、死傷事故率を高い順に並べると、死傷事故の71%が全体の22%の区間に集中。
- 近畿2府5県においても死傷事故の72%が全体の27%の区間で発生しており、特定箇所集中。
- 交通事故は特定の箇所に集中して発生しており、データに基づく対策箇所の選定が重要

近畿地方整備局管内（直轄国道）の死傷事故率

※死傷事故率: 1台の車が1億km走行する間に起こりうる死傷事故件数

